

TreeFoam-2.44-180624の紹介

<従来からの変更点>

1. folderコピー時、desktop名を確認
2. folder構成読み取りのアルゴリズム見直し（高速化）
3. ubuntu 18.04対応

18/06/24

藤井

1. folderコピー時、desktop名を確認

DEXCS2017上でTreeFoamを起動する場合の対応。

DEXCS2017では、fileManager(Nautilus)を起動するとCajaが起動する。NautilusとCajaのdesktop名が異なっている為、TreeFoam—fileManager間でcopyPasteができなかった。

(desktop内のclipboardが使えない状態)

Nautilus, TreeFoamのdesktop : GNOME

Cajaのdesktop : MATE

copyPaste時、desktop名を確認する様に修正。

2. folder構成読み取りのアルゴリズム見直し（高速化）

folder構成の読み取りアルゴリズムを見直し、読み取りの処理を高速化。（local、server共）

OpenFOAMのcaseが多数存在するfolder構成を読み取る場合、caseの内容を読み取っているので、このfolderが多数存在する時、読み取りに1分近く掛かっていたが、数秒で読み取れる様に修正。この修正は、local側、server側も修正。

3. ubuntu 18.04対応

- Ubuntu 18.04のgnome-terminalを起動すると、警告が発生するので、これを修正。
- gtkがバージョンアップされ、gtkを使ってcopyPasteしていた処理が機能しなくなった。（copyPasteできない）
gtkのバージョンアップ前後でも、対応できるように修正。
- xwitの作動を停止（暫定）
xwitを実行すると、TreeFoam端末がアイコン化されず、desktop上のアイコンが消える。
（desktop全体がアイコン化されている様子。）